様式３－１

　　年　　月　　日

（宛先）　監　督　員

商号又は名称

現場代理人

 工　事　名

工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況報告書（土木工事）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項 目 | 評 価 内 容 | 備　　　　　考 |
| □ 工事特性 施工条件等への対応 | □ 構造物の特殊性 | 施工規模が特殊な工事複雑な形状の構造物 |
| □ 都市部等の作業環境社会条件等 | 地盤の変形、近接構造物及び地中構造物への影響 周辺環境条件による作業条件及び工程への影響周辺住民等に対する騒音及び振動への配慮現道上での交通規制による影響緊急時の対応が必要な工事施工個所が広範囲に亘る工事 |
| □ 厳しい自然、地盤条件  | 特殊な地盤条件への対応雨、雪、風、気温及び波浪等の自然条件の影響急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事動植物等の自然環境の保全への配慮 |
| □ 長期工事における安全確保 | 12ケ月を超える工期で事故なく完成し、作業条件により安全確保に苦慮した工事 |
| □ その他 |  |
| □ 創意工夫自ら立案実施した創意工夫や技術力 | □ 施工関係 | 施工に伴う機械、器具、工具及び装置類二次製品及び代替製品の利用施工方法の工夫及び施工環境の改善仮設工施工の工夫及び施工機械の工夫特殊な工法や材料の使用優れた技術力又は能力として評価できる技術による施工 |
| □ 施工管理関係 | 施工管理の工夫（現場管理、施工計画及び写真管理）計測関係の工夫並びに集計及び管理図の工夫ＣＡＤ施工管理ソフト及び土量管理システム等の活用並びにＩＣＴを活用した情報化施工 |
| □ 新技術活用 | 富山県認定ﾘｻｲｸﾙ製品及びトライアル発注商品、県内産木材を使った製品の積極的活用ＮＥＴＩＳ登録技術の積極的活用 |
|
|
| □ 品質関係 | 品質管理の工夫（土工、コンクリート打設等）二次製品等の使用材料の工夫配筋及び溶接作業等に関する工夫 |
| □ 安全衛生関係 | 安全施設及び仮設備の配慮安全教育、講習会、パトロール及び安全帯使用等の工夫作業環境の改善交通事故防止の工夫現場での地球環境への配慮 |
| □ その他 |  |
| □ 社会性等 地域社会や住民に対する貢献 | □ 地域への貢献等 |  　周辺環境への配慮 　現場環境の地域への調和 　地域住民とのコミュニケーション 　地域が主催するイベントへの積極的参加 　地域に密着した清掃活動等の実施  　災害時における地域への援助及び救援活動 |

１　該当する項目の□にチェックを入れてください。

２　工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況について、写真、ポンチ絵等を用いた具体的内容の説明資料（様式３－３）を添付してください。

様式３－２

　　年　　月　　日

（宛先）　監　督　員

商号又は名称

現場代理人

 工　事　名

工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況報告書（建築工事）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項 目 | 評 価 内 容 | 備　　　　　考 |
| □ 工事特性 施工条件等への対応 | □ 建物の特殊性 | 対象建物の規模が特殊な工事対象建物の耐震レベルが高い工事対象建物の機能が特殊な工事 |
| □ 都市部等の作業環社会条件等 | 近接構造物及び地中構造物への影響 周辺環境条件による作業条件及び工程への影響周辺住民等に対する騒音及び振動への配慮周辺水域環境に対する水質汚濁への配慮施工状況や施工条件に対応した工法が必要な工事 |
| □ 厳しい自然、地盤条件  | 湧水の発生等、地下水の影響が大きい工事軟弱地盤等、支持地盤の影響が大きい工事雨、雪、風及び気温等の自然条件の影響 |
| □ 長期工事における安全確保 | 12ケ月を超える工期で事故なく完成し、作業条件により安全確保に苦慮した工事 |
| □ その他 |  |
| □ 創意工夫自ら立案実施した創意工夫や技術力 | □ 施工関係 | 施工に伴う機械、器具、工具及び装置類二次製品及び代替製品の利用施工方法の工夫及び施工環境の改善仮設工施工の工夫既存施設及び近隣等に対する騒音振動対策の工夫保全への配慮による材料選定及び施工方法等の工夫作業の安全性向上のための施工方法等の工夫特殊な工法や材料の使用優れた技術力又は能力として評価できる技術による施工 |
| □ 施工管理関係 | 出来形管理等に関する工夫、施工計画書及び写真管理等の工夫出来形及び品質に関する計測等の工夫並びに集計の工夫ＣＡＤ施工管理ソフト及び土量管理システム等の活用並びにＩＣＴを活用した情報化施工 |
| □ 新技術活用 | 富山県認定ﾘｻｲｸﾙ製品、トライアル発注商品及び県内産木材を使った製品の積極的活用ＮＥＴＩＳ登録技術の積極的活用 |
|
|
| □ 品質関係 | 品質管理の工夫（躯体工事等）材料及び施工の検査試験に関する工夫品質記録方法の工夫 |
| □ 安全衛生関係 | 安全施設及び仮設備の配慮安全教育、講習会及びパトロール等の工夫作業環境の改善交通事故防止の工夫現場での地球環境への配慮 |
| □ その他 |  |
| □ 社会性等 地域社会や住民に対する貢献 | □ 地域への貢献等 | 周辺環境への配慮現場環境の地域への調和地域住民とのコミュニケーション地域が主催するイベントへの積極的参加地域に密着した清掃活動等の実施 災害時における地域への援助及び救援活動 |

１　該当する項目の□にレマーク記入。

２　工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況について、写真、ポンチ絵等を用いた具体的内容の説明資料（様式３－３）を添付してください。

様式－３

工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況（説明資料）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工　事　名 |  |  |
| 項　　目 |  |
| 提 案 内 容 |  | 評価内容 |  |
|  （説 明） |
|  （添 付 図） |

説明資料は簡素に作成し、必要に応じて別葉とする。

活用効果調査表（施工者希望型 受注者提出用）

※「工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況報告書」に添付

※　記入要領

１　すべての調査項目について調査を行ってください。

　ただし、その他については、内容の記載した場合に、評価点へのチェック（○で囲む。）を行ってください。

２　調査項目はすべて記入必須です。

３　定性調査内容に対する評価点は５段階評価とし、該当する評価点をチェック（○で囲む。）してください。

従来技術に比べ優れている。　　　　（＋２）

　　　　　　　　〃　　　やや優れている。　　（＋１）

　　　〃　　　同程度である。　　　（　０）

　　　〃　　　やや劣っている。　　（－１）

　　　〃　　　劣っている。　　　　（－２）

４　記載している項目に該当がない場合は、「その他追加調査した結果」に追記してください。

５　評価できない項目がある場合は、０で評価してください。

６　評価点は調査内容ごとに合計点を算出し、計算式に従って算出してください。

７　各所見（調査結果）欄に、採点をした理由等の所見を記入してください。

８　高い評価点及び低い評価点をつけた場合には、その理由を留意点に記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| （工事番号） | （工事名） |
| 調査者 | （受注者名、氏名、連絡先） |
| NETIS登録技術名称 |  | 登録番号 |  |
| 従来技術 |  |
| 当該現場条件 | 自然環境（騒音、振動、水質等） |  |
| 周辺環境（病院、学校、鉄塔の有無等） |  |
| 現場条件 |  |
|  | Ⅰ経済性 | 単位当りの関係するコスト（施工費、維持管理費等）と従来技術を使った概算コスト比較する。 |
|  | 従来工法 | 新技術 | コスト差 |
| 単位数量当り | 千円 | 千円 | 千円 |
| 評価点（０～２００点）＝１００＋１００×コスト差割／従来技術コスト＝ |
| 調査結果 |  |
| Ⅱ工程 | 従来技術と新技術の対応する施工ｻｲｸﾙについて施工単価当りの実施施工日数と従来技術の施工日数（概算）を比較する。 |
|  | 従来技術 | 新技術 | 短縮日数 |
| 単位数量当り |  |  |  |
| 評価点（０～２００点）＝１００＋１００×短縮日数／従来秘術の施工日数＝ |
| 調査結果 |  |
| 調査項目 | Ⅲ品質・出来形 | 調査内容 | 評価点 |
| 品質は向上したか | +2　+1　0　-1　-2 |
| 出来形、精度は向上したか | +2　+1　0　-1　-2 |
| 耐久性が工場する構造になったか | +2　+1　0　-1　-2 |
| 品質、出来形の管理項目は減少したか | +2　+1　0　-1　-2 |
| 品質、出来形の管理頻度は減少したか | +2　+1　0　-1　-2 |
| その他（　　　　　　　　　　　　　　　） | +2　+1　0　-1　-2 |
| その他（　　　　　　　　　　　　　　　） | +2　+1　0　-1　-2 |
|  | 得点： |
| 評定点＝１００＋（５０×得点）／選択項目数　＝ |
| 調査結果 |  |
| Ⅳ安全性 | 調査内容 | 評価点 |
| 墜落、転落事故の危険性が減少したか | +2　+1　0　-1　-2 |
| 重機災害の危険性が減少したか | +2　+1　0　-1　-2 |
| 飛来、落下物災害の危険性が減少したか | +2　+1　0　-1　-2 |
| 作業環境が向上したか（暗がり、騒音、狭所作業等の現象） | +2　+1　0　-1　-2 |
| 危険物等の取り扱いが減少したか | +2　+1　0　-1　-2 |
| その他（　　　　　　　　　　　　　　） | +2　+1　0　-1　-2 |
| その他（　　　　　　　　　　　　　　） | +2　+1　0　-1　-2 |
|  | 得点： |
| 評定点＝１００＋（５０×得点）／選択項目数　＝ |
| 調査結果 |  |
| Ⅴ施工性 | 調査内容 | 評価点 |
| 現場での施工が減少したか | +2　+1　0　-1　-2 |
| 仮設工が減少したか | +2　+1　0　-1　-2 |
| 作業員が容易になったか | +2　+1　0　-1　-2 |
| 熟練度に依存した工程が減少したか | +2　+1　0　-1　-2 |
| 施工の機械化の程度は向上したか | +2　+1　0　-1　-2 |
| 施工時の制約条件が減少したか | +2　+1　0　-1　-2 |
| その他（　　　　　　　　　　　　　　　） | +2　+1　0　-1　-2 |
| その他（　　　　　　　　　　　　　　　） | +2　+1　0　-1　-2 |
|  | 得点： |
| 評定点＝１００＋（５０×得点）／選択項目数　＝ |
| 調査結果 |  |
| Ⅵ環境 | 調査内容 | 評価点 |
| 周辺の大気汚染、土壌汚染、水質汚染が減少したか | +2　+1　0　-1　-2 |
| 騒音、振動、粉塵等が減少したか | +2　+1　0　-1　-2 |
| 周辺の自然、生態環境、景観との調和は向上したか | +2　+1　0　-1　-2 |
| 産業廃棄物の発生量は減少したか | +2　+1　0　-1　-2 |
| 危険物等の取り扱いが減少したか | +2　+1　0　-1　-2 |
| その他（　　　　　　　　　　　　　　　） | +2　+1　0　-1　-2 |
| その他（　　　　　　　　　　　　　　　） | +2　+1　0　-1　-2 |
|  | 得点： |
| 評定点＝１００＋（５０×得点）／選択項目数　＝ |  |
| 調査結果 |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | Ⅶその他 | 調査内容 | コメント |
| その他（　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| その他（　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| その他（　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 調査結果 |  |
| 具体的な所見 |  |
| その他追加調査した結果 |  |
| 【NETIS資料・施工状況等の写真】（適宜別紙可） |